



まなや
ありがとう 僕らの学び舎

108年の歴史に幕

余市町立栄小学校閉校

余市町立栄小学校校歌

作詞 小田親儀
作曲 佐藤璋夫

- 一、青空深し起き伏せる
丘と田畑のよき眺め
栄の町の名を負いて
学ぶ春秋いざはげめ
少年われら肩上がる
- 二、海原広く見渡して
望みは遠しきたうる身
おのれを育て踏み行く
道は一すじいざはげめ
少年われら胸おしる
- 三、国の行手の世々かけて
心をみがき智をもとめ
よき師の教え敬みて
学び舎六とせいざはげめ
少年われら肩上がる

栄小学校が3月末をもって108年の歴史に幕を閉じました。昨年11月21日に行われた閉校式には学校のOBや地域の方が大勢出席し、学び舎との別れを惜しんでいました。

子どもたちはたくさんの思い出が詰まった校舎に別れを告げ、この4月から大川小学校に通います。

栄小学校で学んだことを忘れずに、新しい学校で元気な学校生活を送ってください。

◆平成28年度 町政執行の基本方針／教育行政の執行方針 (P2~P4)

◆平成28年度 予算の概要 (P5~8)

【今月の記事】

◆町営住宅の入居申込を受付けします (P9)

◆余市町市民農園 利用者募集 (P16)

◆公の施設の指定管理者を指定しました (P17)